



# 肥満症の外科手術を開始しました!

糖尿病・代謝内科 主任科部長 **橋谷 三四郎** さん



糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病を適切に治療しないでいくと神経障害、網膜症、腎症や心血管障害(狭心症や心筋梗塞)、脳血管障害(脳梗塞や脳出血)を発症する危険性が非常に高くなってきます。食事に注意し運動を行うなど普段の生活習慣をまず見直す必要がありますが改善できない場合はお薬を開始する必要があります。

当院ではこういった内科的治療を行っても減量が困難な患者さんに対して昨年11月から保険診療で腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を開始しました。



- ①糖尿病・高脂血症・高血圧・睡眠時無呼吸症候群のうち1つをもっている
- ②半年以上の内科治療を行っている
- ③BMI35以上の高度肥満がある方

が対象になります。

減量が難渋しておられましたらまずはご紹介の上、肥満症を治療する外来を受診してください。

加古川市民病院機構から地域の皆さまへ



## 特集 放射線治療

### Hospital News

#### 健康教室のご案内

健康教室を毎月第3土曜日に開催しています。各テーマ毎に当院の医師、医療職員が解説しています。

日時：5月18日(土)14:00~15:00  
 場所：光(きらり)ホール  
 講師：消化器内科 科部長 西澤 昭彦 医師  
 タイトル：肝臓病について

#### ボランティア感謝会

病院ボランティアさんの日頃の活動に感謝し3月15日(金)にボランティア感謝会が開催されました。総活動期間が500時間を超えた方が2名おられ、感謝状授与式と行いました。



4月から診療科名が右記のように変更になりました



#### 加古川中央市民病院で一緒に働きませんか。

- ◎看護職員・看護師・助産師・看護補助・作業補助
- ◎医療スタッフ(臨時職員)・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技士
- ◎事務スタッフ・企画総合職・医師事務作業補助者・医療事務業務・ポーター業務

詳しくはホームページをご覧ください。(資格・経験不問の職種もあります。)



加古川中央市民病院 採用情報

検索



安心・安全な治療を心がけています  
そのために...

放射線治療科が加わりました



地方独立行政法人 加古川市民病院機構  
**加古川中央市民病院**

〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地  
TEL: 079-451-5500(代表)  
http://www.kakohp.jp/

受付時間  
 診療受付時間…(月~金) 8:00~11:00  
 診療時間…(月~金) 8:45~17:00  
 休診日…土曜日・日曜日・祝祭日  
 年末年始12月29日~1月3日



加古川市民病院機構



# 特集 放射線治療

## 放射線治療科

4月から放射線治療専門医  
松本葉子医師が赴任

「放射線科」は、より専門性をたかめるために「放射線診断科」と「放射線治療科」になりました。

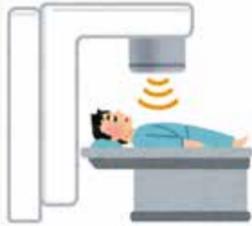
患者さんに安心・安全に放射線治療を受けていただけるよう努めてまいります。



放射線治療スタッフ  
(医師・看護師・診療放射線技師・医学物理士・医療事務)

### 放射線治療とは

主にがんに対して放射線を当てることで、がんを治したり、症状を和らげる治療方法です。患者さんを診察し、放射線治療の適応について検討し、照射方法を考えます。手術や抗がん剤治療など、ほかの治療方法と組み合わせて行うこともあります。



対象：肺がん、食道がん、乳がん、前立腺がんなど、  
多岐にわたります。

### 当院の放射線治療

当院では最新の放射線治療器を導入し、年間約350名の放射線治療を行っております。放射線治療専門医、放射線治療専門技師、医学物理士、放射線治療品質管理士、がん放射線療法看護認定看護師が専従し、精度の高い安全な放射線治療を患者さんに提供しています。



### 放射線治療器と動体追跡システムを導入しています

#### 動体追跡放射線治療とは…

従来の放射線治療では、呼吸性移動がある腫瘍は、動きのある範囲すべてに放射線を照射していたため、正常な部分にも多くの放射線が照射されていました。

動体追跡システムは腫瘍近くに埋め込まれたマーカーの位置を画像上で追跡し、放射線治療器は、マーカーが所定の位置に存在する場合のみ腫瘍へ向けて放射線をピンポイントで照射します。これにより、腫瘍に集中して照射することが可能となり、副作用のリスクをより少なくすることができます。



スタッフ一同、真心を込めて対応させていただきます

## 紹介 新しく導入した機器

### 全身用X線CT診断装置

新世代320列のCTを導入しました。心臓などは1回転(0.275秒)で撮影ができるため、大幅な被ばく線量の低減とブレのない画像撮影が可能になりました。金属の影響の少ない画像を撮影することができるようになり、今まで見えにくかったものまでわかるようになりました。



### 3次元画像解析システム

手術前に血管や胆管がある位置を正確に把握することができるため手術シミュレーションが容易に行えます。特に肝胆膵外科領域の手術では力を発揮します。



### 心臓核医学画像診断装置

従来は寝た状態で撮影し撮影時間は30分かかっていましたが、この装置は座って撮影ができ、撮影時間も20分になりました。患者さんの負担が少なくなりました。



### 超音波画像診断装置

従来の検査に加え、肝臓の硬さや脂肪化を数値で測定し、それによって肝硬変診断の補助や脂肪肝の程度を予測することができるようになりました。



### 多目的血管X線撮影装置

複雑な脳血管の位置や状態を細い血管まで立体的に見ることができ、手術を行う医師は正確な情報を得ることができます。



### かかりつけのお医者さんにご相談を

体調に不安があり、治療についてもっと詳しく相談したいなどの場合は、まずはかかりつけの先生にご相談ください。当院では、かかりつけの先生としっかり医療連携を行い皆さんの健康を支えます。

